

### (3) 子供主体の授業づくりを目指した「蝶屋授業モデル」

学習過程	区切り	教師の指導	めざす児童の姿
つかむ	課題をつかむ 見直しをもつ	○課題を自分事とするための手立てをうつ ・教材との出会わせ方 ・実生活との関連付け ・単元ゴール（学習計画）の活用 ・立場の明確化 ・既習との違い・すれを活かす ・多様な考えや不十分な考えを活かす など	○学習課題を自分事とする 「解決してみたい」「やってみたい」「知りたい」 「今の自分と何が違うかな」「あの時はこうだったけど今日はどうかかな」 「前の時間と何が違うのかな」 「ゴールを達成するためにこの課題を頑張ろう」 「分からない」「みんなで解決したい」 など
<div data-bbox="81 241 459 398" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #f8d7da;"> <p style="text-align: center;"><b>重点1</b> 一人一人が課題を自分事とするための単元デザイン</p> </div>		<div data-bbox="116 712 501 824" style="border: 2px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #fff3cd;"> <p style="text-align: center;">チャレンジタイム</p> </div>	
考える 学び合う	子供が学び方を選択判断する 課題を解決する	<div data-bbox="475 465 715 622" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #fff; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>伝えたいな！ 聴きたいな！ 確かめたいな！</b></p> </div> 	○自力解決するための手立てをうつ ●ICTの効果的活用 ●既習をもとに考えさせる ●考える視点を提示、選択肢を用意する ●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）を明確にさせる ●結論（根拠）と理由で表現させる ●アイテム（表や図 具体物 タブレット 叙述 資料）などを根拠として考えさせる ●順序立てて分かりやすく自分の考えを書かせる など
<div data-bbox="81 864 459 1021" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #f8d7da;"> <p style="text-align: center;"><b>重点2</b> チャレンジタイムを有効な場にするための手立て</p> </div>		<div data-bbox="1082 846 1369 958" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #fff; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>どうしてかな？ どこからそう思ったの？</b></p> </div> 	
	情報を整理・分析する	○協働的な学びを充実させる手立てをうつ ●発問の吟味 ●板書の工夫 ●ICTの効果的活用 ●再思考の場の設定 ●追資料の提示や効果的な資料の提示 ●多様な考えや不十分な考えを活かす ●立場の再認識、明確化 ●学ぶ目的を明確にさせる など	○多様な考えや不十分な考えを共有する ・相手がもう一度言える形で伝える ・つまずきとセットで伝える ・自分の言葉で伝える ・相手に合った伝え方で伝える
まとめる	まとめ・表現する	○ねらいを達成するための手立てをうつ (チャレンジタイムでの児童の状況を踏まえて) ●学びを定着させたり、深めたりするための問い返しや発問 「どこ（どの文や言葉）からわかりますか」 「本当にいいのかな？」 「この場合はどうかかな？」	○課題に正対したまとめをする ・板書やノートから課題解決の結果をまとめる ・学習過程を自分の言葉でねらいに沿って表現する
	振り返りをする	○課題に正対したまとめをさせる ・キーワードを板書に残す ・キーワードを空欄にする ・書き出しをそろえる ・どんなことが分かったか確認させる ○活用・適用問題に取り組ませる 「この問題でも使えるかな？」 「自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな？」	○振り返りをする 「〇〇の力がついた！」 「今の自分は～だから〇〇だと思った！」 「次は～をやってみたい！」 「〇〇さんの考えを聞いて、～ができた！」 「最初は〇〇だったけど、～～になった！」
		○振り返りをさせる ●記号による自己評価 ●視点に沿った振り返り・変容を自覚する振り返り ・どんな力が自分についたか ・次の学習や今の自分に活かしたいことはあったか ・45分前と比べて自分はどう変わったか など	